

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・重度・重複学級　・ 1グループ		担当者名	○豊田　真悠子
教科・領域名		音楽			
ねらい		(1) 曲想と音楽の構造について体感し、音楽表現に必要な力を培う。 (2) 音楽表現を自ら引きだし、自分なりに音楽を感じ取る力を培う。 (3) 主体的・協力的に学習に取り組み、音楽経験により生活を明るく豊かなものにする感性を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0　　時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習（教育芸術社）			
月	単元（題材）名	指導 時数	○ねらい　□主な学習内容（評価の観点）		指導の工夫
4	音楽を表現しよう	3	○美しく豊かな音楽の表現の仕方を学ぶ □音楽表現の姿勢・口の開け方・身体 の使い方 を学習する（知識・技能） □きれいな発声や身体 の動き で表現する。（思考・判断・表現） □自ら表現しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） □季節に合った曲を鑑賞する。（知識・技能）		・姿勢を正しく保てるように、 体をほぐして歌うようにする。 ・歌詞のイメージをもちやすく するため、写真や絵を用いる。
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。（知識・技能） □簡単なリズムのパターンを作ることができる。（思考・判断・表現） □リズム打ちを自ら行おうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）		・教員が示範し、イメージしや すくする。 ・リズムの違いを認識しやすい 楽曲を選曲する。
6	曲に合わせて演奏し よう	5	○曲想を感じて打楽器等の演奏ができるようになる。 □4拍子の1拍目、音符の種類を意識して演奏できるようになる（知識・技能） □音色を感じながら演奏する。（思考・判断・表現） □好きな楽器を選んで自ら演奏しようとしている。 （主体的に学習に取り組む態度）		・教員が示範し、イメージしや すくする。 ・合図を出すなどして、曲とリ ズムが合うようにする。
7	旋律楽器を弾いてみ よう	2	○旋律楽器を旋律に合わせて奏でられるようになる。 □模範演奏を聴いて曲のメロディーを覚える。（知識・技能） □範奏に合わせて小節の初めの音が弾けるようになる。（思考・判断・表現） □曲を聴いて自ら演奏しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）		・生徒の実態に合わせてアレ ンジをし、曲の難易度を調節す る。 ・鍵盤に色分けした階名シール を貼る。
9	ミュージカルに親し む	3	○「ミュージカル」とはどんなものか感じ取る。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について知る。（知識・技能） □ミュージカルの曲に合わせて表現活動する。（思考・判断・表現） □ミュージカルを進んで鑑賞しようとする。（知識・技能・表現）		・視覚的な教材を活用する。 ・感想について発問し、選択肢 を提示するなどして意思の表出 を促す。
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを感じ取る。 □いろいろな民謡を聴き、日本の民謡の特徴を感じる。（知識・技能） □民謡の歌や踊りを覚えて行う。（思考・判断・表現） □積極的に歌ったり踊ったりしようとしている。（主体的に学習に取り組む態 度）□日本の代表的な民謡を鑑賞する。（思考・判断・表現）		・視覚的な教材を活用する。 ・感想について発問し、選択肢 を提示するなどして意思の表出 を促す。
11	アンサンブルをして みよう	4	○音楽に合わせて複数の相手と一緒に音を出す。 □和声やリズムの重なりを感じ取る。（知識・技能） □相手と一緒に演奏することを意識して音を出す。（思考・判断・表現） □アンサンブルとその響きを味わう。（主体的に学習に取り組む態度） □アンサンブルを取り入れた曲を鑑賞する。（知識・技能）		・楽器の扱い方や、音だしの ルールが身に付くようにする。 ・合図を見る、音を聴くなど、 周りを意識しながら演奏する習 慣をつくる。
12		3			
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。（思考・判断・表 現） ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。 （思考・判断・表現）		・強弱や緩急等の理解が深まる ように伴奏を工夫する。
2	世界の音楽を知ろう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □様々な西洋の音楽を鑑賞し、雰囲気を覚える。（知識・技能） □様々な西洋の音楽を鑑賞し、違いを感じて表現する。（思考・判断・表現） □様々な国の音楽を鑑賞する。（知識・技能）		・視覚的な教材を活用する。 ・動画を見ながら、音楽の特徴 を解説する。 ・気付いたことや感想について 発問する。
3	気持ちを込めて表現 しよう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。（知識・技能） □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。（思考・判断・表現） □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。 （主体的に学習に取り組む態度）		・本人の表現の工夫を称賛し、 自信につなげられるようにす る。
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・2グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		音楽			
ね ら い		(1)曲想と音楽の構造について感じ取り、音楽表現に必要な力を培う。 (2)自分なりに音楽表現を創意工夫し、音楽を考えながら聴く力を培う。 (3)主体的・協力的に学習に取り組み、音楽経験を広げ、生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	みんなで歌おう	3	○美しく豊かに歌う歌い方を学ぶ □歌う時の姿勢・口の開け方・身体を使い方を学習する(知識・技能) □正しい発声や豊かな響きを意識して歌う。(思考・判断・表現) □積極的に歌おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季節に合った曲を鑑賞する。(知識・技能)	・姿勢を正しく保てるように、体をほぐして歌うようにする。 ・歌詞のイメージをもちやすくするため、写真や絵を用いる。	
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。(知識・技能) □簡単なリズムのパターンを作ることができる。(思考・判断・表現) □リズム打ちを自力行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範し、イメージしやすくする。 ・リズムの違いを認識しやすい楽曲を選曲する。	
6	曲に合わせて演奏しよう	5	○音楽に合わせて打楽器等の演奏ができるようになる。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を意識して演奏できるようになる。(知識・技能) □楽器に合った演奏をする。(思考・判断・表現) □自ら積極的に演奏しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範し、イメージしやすくする。 ・合図を出すなどして、曲とリズムが合うようにする。	
7	旋律楽器を弾いてみよう	2	○旋律楽器を奏でられるようになる。 □模範演奏を聴いて曲のメロディーが分かるようになる。(知識・技能) □曲の一部を弾けるようになる。(思考・判断・表現) □階名を覚えて旋律楽器の演奏しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・生徒の実態に合わせてアレンジをし、曲の難易度を調節する。 ・鍵盤に色分けした階名シールを貼る。	
9	ミュージカルに親しむ	3	○「ミュージカル」とはどんなものか知る。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について学習する。(知識・技能) □ミュージカルの曲に合わせて表現活動する。(思考・判断・表現) □ミュージカルについて感想を伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・感想について発問し、選択肢を提示するなどして意思の表出を促す。	
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを感じ取る。 □いろいろな民謡を聴き、日本の民謡の特徴を感じる。(知識・技能) □民謡の歌や踊りを覚えて行う。(思考・判断・表現) □積極的に歌ったり踊ったりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □日本の代表的な民謡を鑑賞する。(知識・技能)	・視覚的な教材を活用する。 ・感想について発問し、選択肢を提示するなどして意思の表出を促す。	
11	アンサンブルをしてみよう	4	○複数の相手とアンサンブルができるようになる。 □和声やリズムの重なりを感じ取る。(知識・技能) □相手の演奏を聴きながら演奏する。(思考力、判断力、表現力) □アンサンブルに興味をもち、他グループの演奏を聴こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・楽器の扱い方や、音だしのルールが身に付くようにする。 ・合図を見る、音を聴くなど、周りを意識しながら演奏する習慣をつくる。	
12		3			
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。(思考・判断・表現) ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。(思考・判断・表現)	・強弱や緩急等の理解が深まるように伴奏を工夫する。	
2	世界の音楽を知ろう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や楽曲を知る。(知識・技能) □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や演特徴を比べて、その違いを感じ取る。 (思考・判断・表現) □様々な国の音楽を鑑賞する。(知識・技能)	・視覚的な教材を活用する。 ・動画を見ながら、音楽の特徴を解説する。 ・気付いたことや感想について発問する。	
3	気持ちを込めて歌おう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。(知識・技能) □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。(思考・判断・表現) □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。 (主体的に学習に取り組む態度)	・本人の表現の工夫を称賛し、自信につなげられるようにする。	
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・3グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		音楽			
ね ら い		(1)曲想と音楽の構造の関わりを理解し、音楽表現に必要な技能を培う。 (2)音楽表現を自分なりに見いだしながら、音楽を味わって聴く力を培う。 (3)主体的・協力的に学習に取り組み、音楽経験を深め、生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	みんなで歌おう	3	○美しく豊かに歌う歌い方を学ぶ □歌う時の姿勢・口の開け方・身体を使い方を学習する(知識・技能) □正しい発声や豊かな響きを心がけて歌う。(思考・判断・表現) □伴奏に合わせて積極的に歌おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季節に合った曲を鑑賞する。(知識・技能)	・姿勢を正しく保てるように、体をほぐして歌うようにする。 ・歌詞のイメージをもちやすくするため、写真や絵を用いる。	
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。(知識・技能) □簡単なリズムのパターンを作ることができる。(思考・判断・表現) □リズム打ちを自ら行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範し、イメージしやすくする。 ・リズムの違いを認識しやすい楽曲を選曲する。	
6	曲に合わせて演奏しよう	5	○音楽に合わせて打楽器等の演奏ができるようになる。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を使い分けて演奏できるようになる。(知識・技能) □楽器に合った演奏をする。(思考・判断・表現) □音楽に合わせて演奏しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範し、イメージしやすくする。 ・合図を出すなどして、曲とリズムが合うようにする。	
7	旋律楽器を弾いてみよう	2	○旋律楽器でメロディーを奏でられるようにする。 □ハ長調・イ短調の階名と鍵盤の位置が分かるようになる。(知識・技能) □旋律が弾けるようになる。(思考・判断・表現) □階名を覚えて旋律楽器の演奏をしようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・生徒の実態に合わせてアレンジし、曲の難易度を調節する。 ・鍵盤に色分けした階名シールを貼る。	
9	ミュージカルに親しむ	3	○「ミュージカル」とはどんなものか理解する。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について学習する。(知識・技能) □ミュージカルの曲に合わせて表現活動する。(思考・判断・表現) □ミュージカルについて感想を伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・気付いたことや感想について発問する。	
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを発見する。 □いろいろな民謡を鑑賞し、日本の民謡の特徴を知る。(知識・技能) □民謡を歌ったり踊ったりする。(思考・判断・表現) □いろいろな民謡を自分なりに評価しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・気付いたことや感想について発問する。	
11	アンサンブルをしてみよう	4	○複数の相手とアンサンブルができるようになる。 □和声やリズムの重なりを感じ取る。(知識・技能) □相手の演奏を聴きながら演奏する。(思考・判断・表現) □積極的にアンサンブルに取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・楽器の扱い方や、音だしのルールを身に付ける。 ・合図を見る、音を聴くなど、周りを意識しながら演奏する習慣をつくる。	
12		3			
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。(思考・判断・表現) ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。(思考・判断・表現)	・強弱や緩急等の理解が深まるように伴奏を工夫する。	
2	世界の国々の音楽を聴こう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や楽曲を知る。(知識・技能) □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や演特徴を比べて、その違いに目を向ける。(思考・判断・表現) □いろいろな国の音楽に感想のよさを感じようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・動画を見ながら、音楽の特徴を解説する。 ・気付いたことや感想について発問する。	
3	気持ちを込めて歌おう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。(知識・技能) □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。(思考・判断・表現) □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。 (主体的に学習に取り組む態度)	・本人の表現の工夫を称賛し、自信につなげられるようにする。	
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・4グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		音楽			
ね ら い		(1)曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現に必要な技能を培う。 (2)音楽表現を創意工夫し音楽を自分なりに評価し、味わって聴く力を培う。 (3)主体的・協力的に音楽の学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	みんなで歌おう	3	○美しく豊かに歌う歌い方を学ぶ。 □歌う時の姿勢・口の開け方・身体の使い方を学習する(知識・技能) □正しい発声や豊かな響きを考えて歌う。(思考・判断・表現) □伴奏に合わせて積極的に歌おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季節に合った曲を鑑賞する。(知識・技能)		・歌う時の姿勢を保ちながらリラックスして歌えるようにする。 ・歌詞の意味をイメージできるように絵や写真を用いる。
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。(知識・技能) □簡単なリズムのパターンを作ることができる。(思考・判断・表現) □リズム打ちを自ら行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・教員が目の前で演奏の示範をする。 ・拡大譜を活用する。 ・リズムに乗りやすい楽曲を選曲する。
6	曲に合わせて演奏しよう	5	○打楽器等の演奏ができるようになる。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符のリズム譜が読めるようになる。(知識・技能) □打楽器等の特徴を捉えて演奏する。(思考・判断・表現) □曲に合わせて演奏しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		・教員が演奏の示範をする。 ・使用する楽器の響きを感じ取れる曲を選曲する。 ・教員が合図をしながらリズムと曲が合うようにする。
7	旋律楽器を弾いてみよう	2	○旋律楽器の演奏ができるようになる。 □ハ長調・イ短調の階名が分かるようになる。(知識・技能) □曲に合わせて旋律が弾けるようになる。(思考・判断・表現) □楽譜を見ながら旋律楽器の演奏をする。(主体的に学習に取り組む態度)		・教員が示範しハ長調とイ短調の明暗を感じ取れるようにする。 ・鍵盤にシールを貼り、音を出すところを分かりやすくする。
9	ミュージカルに親しむ	3	○「ミュージカル」の構造を理解する。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について学習する。(知識・技能) □ミュージカルの中の曲を演奏する。(思考・判断・表現) □ミュージカルについて感想を述べ合う。(主体的に学習に取り組む態度)		・視覚的な教材を活用する。 ・気付いたことや感想について発問し共有することで、感じ方の幅を広げる。
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを発見する。 □日本の民謡の特徴や音階を理解する。(知識・技能) □日本の民謡を歌ったり踊ったりする。(思考力、判断力、表現力) □いろいろな地方の民謡に対し、感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)		・手足の動きを部分練習をした後に、ゆっくりしたテンポから全体練習をする。 ・歌詞を提示し独特な言い回しを部分練習する。
11	アンサンブルをしてみよう	4	○複数の相手とアンサンブルができるようになる。 □和声やリズムの重なりを理解する。(知識・技能) □相手の演奏に合わせて演奏する。(思考・判断・表現) □他グループの演奏を聴き、評価する。(主体的に学習に取り組む態度) □アンサンブルを取り入れた曲を鑑賞する。(知識・技能)		・楽器の扱い方や音の出し方を説明する。 ・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。
12		3			・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。 ・グループ分けをし、他グループの良さなどの感想を発表し合う。
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。(思考・判断・表現) ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。(思考・判断・表現)		・強弱や緩急等の理解が深まるように伴奏を工夫する。
2	世界の国々の音楽を聴こう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や楽曲を知る。(知識・技能) □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や演奏形態、特徴を比べて、その違いを知る。(思考・判断・表現) □感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)		・視覚的な教材を活用する。 ・日本と外国の曲を交互に聴かせ比べやすくする。
3	気持ちを込めて歌おう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。(知識・技能) □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。(思考・判断・表現) □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。 (主体的に学習に取り組む態度)		・ICT機器を活用し式典の雰囲気をイメージしやすくする。 ・雰囲気に合った歌い方を理解し、自己表現につなげられるようにする。
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・5グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		音楽			
ね ら い		(1)曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現に必要な技能を培う。 (2)音楽表現を創意工夫し音楽を自分なりに評価し、味わって聴く力を培う。 (3)主体的・協力的に音楽の学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	みんなで歌おう	3	○美しく豊かに歌う歌い方を学ぶ。 □歌う時の姿勢・口の開け方・身体を使い方を学習する(知識・技能) □正しい発声や豊かな響きを考えて歌う。(思考・判断・表現) □伴奏に合わせて積極的に歌おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季節に合った曲を鑑賞する。(知識・技能)	・歌う時の姿勢を保ちながらリラックスして歌えるようにする。 ・歌詞の意味をイメージできるように絵や写真を用いる。	
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。(知識・技能) □簡単なリズムのパターンを作ることができる。(思考・判断・表現) □リズム打ちを自ら行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が目の前で演奏の示範をする。 ・拡大譜を活用する。 ・リズムに乗りやすい楽曲を選曲する。	
6	曲に合わせて演奏しよう	5	○打楽器等の演奏ができるようになる。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符のリズム譜が読めるようになる。(知識・技能) □打楽器等の特徴をとらえて演奏する。(思考・判断・表現) □曲に合わせて演奏しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が演奏の示範をする。 ・使用する楽器の響きを感じ取れる曲を選曲する。 ・教員が合図をしながらリズムと曲が合うようにする。	
7	旋律楽器を弾いてみよう	2	○旋律楽器の演奏ができるようになる。 □ハ長調・イ短調の階名が分かるようになる。(知識・技能) □曲に合わせて旋律が弾けるようになる。(思考・判断・表現) □楽譜を見ながら旋律楽器の演奏をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範しハ長調とイ短調の明暗を感じ取れるようにする。 ・鍵盤にシールを貼り、音を出すところを分かりやすくする。	
9	ミュージカルに親しむ	3	○「ミュージカル」の構造を理解する。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について知る。(知識・技能) □ミュージカルの中の曲を演奏する。(思考・判断・表現) □ミュージカルについて感想を述べ合う。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・気付いたことや感想について発問し共有することで、感じ方の幅を広げる。	
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを発見する。 □日本の民謡の特徴や音階を理解する。(知識・技能) □日本の民謡を歌ったり踊ったりする。(思考力、判断力、表現力) □いろいろな地方の民謡に対し、感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・手足の動きを部分練習をした後に、ゆっくりしたテンポから全体練習をする。 ・歌詞を提示し独特な言い回しを部分練習する。	
11	アンサンブルをしてみよう	4	○複数の相手とアンサンブルができるようになる。 □和声やリズムの重なりを理解する。(知識・技能) □相手の演奏に合わせて演奏する。(思考・判断・表現) □他グループの演奏を聴き、評価する。(主体的に学習に取り組む態度) □アンサンブルを取り入れた曲を鑑賞する。(知識・技能)	・楽器の扱い方や音の出し方を説明する。 ・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。	
12		3		・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。 ・グループ分けをし、他グループの良さなどの感想を発表し合う。	
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。(思考・判断・表現) ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。(思考・判断・表現)	・強弱や緩急等の理解が深まるように伴奏を工夫する。	
2	世界の国々の音楽を聴こう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や楽曲を知る。(知識・技能) □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や演奏形態、特徴を比べて、その違いを知る。(思考・判断・表現) □感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・日本と外国の曲を交互に聴かせ比べやすくする。	
3	気持ちを込めて歌おう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。(知識・技能) □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。(思考・判断・表現) □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。 (主体的に学習に取り組む態度)	・ICT機器を活用し式典の雰囲気をイメージしやすくする。 ・雰囲気に合った歌い方を理解し、自己表現につなげられるようにする。	
備考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・6グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		音楽			
ね ら い		(1)曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現に必要な技能を培う。 (2)音楽表現を創意工夫し音楽を自分なりに評価し、味わって聴く力を培う。 (3)主体的・協力的に音楽の学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		音楽室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	みんなで歌おう	3	○美しく豊かに歌う歌い方を学ぶ。 □歌う時の姿勢・口の開け方・身体の使い方を学習する(知識・技能) □正しい発声や豊かな響きを考えて歌う。(思考・判断・表現) □伴奏に合わせて積極的に歌おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □季節に合った曲を鑑賞する。(知識・技能)	・歌う時の姿勢を保ちながらリラックスして歌えるようにする。 ・歌詞の意味をイメージできるように絵や写真を用いる。	
5	リズムに合わせて	3	○拍とリズムを感じ取る。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符を感じとる。(知識・技能) □簡単なリズムのパターンを作ることができる。(思考・判断・表現) □リズム打ちを自力行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が目の前で演奏の示範をする。 ・拡大譜を活用する。 ・リズムに乗りやすい楽曲を選曲する。	
6	曲に合わせて演奏しよう	5	○打楽器等の演奏ができるようになる。 □4分の4拍子、4分音符、4分休符、8分音符のリズム譜が読めるようになる。(知識・技能) □打楽器等の特徴をとらえて演奏する。(思考・判断・表現) □曲に合わせて演奏しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が演奏の示範をする。 ・使用する楽器の響きを感じ取れる曲を選曲する。 ・教員が合図をしながらリズムと曲が合うようにする。	
7	旋律楽器を弾いてみよう	2	○旋律楽器の演奏ができるようになる。 □ハ長調・イ短調の階名が分かるようになる。(知識・技能) □曲に合わせて旋律が弾けるようになる。(思考・判断・表現) □楽譜を見ながら旋律楽器の演奏をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・教員が示範しハ長調とイ短調の明暗を感じ取れるようにする。 ・鍵盤にシールを貼り、音を出すところを分かりやすくする。	
9	ミュージカルに親しむ	3	○「ミュージカル」の構造を理解する。 □ミュージカルを鑑賞し、ストーリーや有名な曲について知る。(知識・技能) □ミュージカルの中の曲を演奏する。(思考・判断・表現) □ミュージカルについて感想を述べ合う。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・気付いたことや感想について発問し共有することで、感じ方の幅を広げる。	
10	日本の民謡を知ろう	4	○日本の民謡について学び、その良さを発見する。 □日本の民謡の特徴や音階を理解する。(知識・技能) □日本の民謡を歌ったり踊ったりする。(思考力、判断力、表現力) □いろいろな地方の民謡に対し、感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・手足の動きを部分練習をした後に、ゆっくりしたテンポから全体練習をする。 ・歌詞を提示し独特な言い回しを部分練習する。	
11	アンサンブルをしてみよう	4	○複数の相手とアンサンブルができるようになる。 □和声やリズムの重なりを理解する。(知識・技能) □相手の演奏に合わせて演奏する。(思考・判断・表現) □他グループの演奏を聴き、評価する。(主体的に学習に取り組む態度) □アンサンブルを取り入れた曲を鑑賞する。(知識・技能)	・楽器の扱い方や音の出し方を説明する。 ・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。	
12		3		・周りの音を聴いて演奏できるよう合図する。 ・グループ分けをし、他グループの良さなどの感想を発表し合う。	
1	音楽で表現しよう	1	○動きや振付、フォーメーション等を覚えて、身体表現をする。 □振付や構成等を覚えて、ダイナミックに身体表現をする。(思考・判断・表現) ○音楽や場面に合わせて、表現を工夫する。 □場面の雰囲気を感じ取り、創造的に表現することができる。(思考・判断・表現)	・強弱や緩急等の理解が深まるように伴奏を工夫する。	
2	世界の国々の音楽を聴こう	4	○世界の国々の音楽について学ぶ。 □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や楽曲を知る。(知識・技能) □西洋の音楽を鑑賞し、作曲家や演奏形態、特徴を比べて、その違いを知る。(思考・判断・表現) □感想を発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・視覚的な教材を活用する。 ・日本と外国の曲を交互に聴かせ比べやすくする。	
3	気持ちを込めて歌おう	3	○式典に使われる曲を場にふさわしく気持ちを込めて歌えるようになる。 □「校歌」「国歌」が歌えるようになる。(知識・技能) □雰囲気を想像し、気持ちを込めて歌う。(思考・判断・表現) □式典にふさわしいしっかりとした態度で歌う。(主体的に学習に取り組む態度)	・ICT機器を活用し式典の雰囲気をイメージしやすくする。 ・雰囲気に合った歌い方を理解し、自己表現につなげられるようにする。	
備考					